あくせす Access

NO.326
2024年3月15日

九州旅客鉄道労働組合
大分地方本部

大分市大道町1丁目8番1号
097-543-2223

発行責任者　遠藤　晃元
編集責任者　獅々賀友紀

LINE@
ＪＲ九州労組公式アカウント
ＩＤ … @ｙｑｗ２４７８ｔ

第30回地本定期委員会開催

3月9日（土）、「全労済ソレイユ」にて第30回定期委員会を開催し、地本役員・分会委員計25名が参加した。来賓として中央本部より鎗光副委員長、川崎政治部長、伊藤執行委員をお招きし、議長には大分乗務センター分会より石郷委員が選出された。遠藤委員長より冒頭の挨拶で「安全問題」「組織問題」「2024春闘運動」について提起をおこなった後、各議案の提起を行い、各分会を代表する委員から職場問題等の発言があり、執行部答弁の後、満場一致で採択、最後に遠藤委員長の団結ガンバローで閉会した。

大分乗務センター分会
竹下　委員

1．エリア制度について

2．延岡エリアの休憩所について

＜執行部答弁＞
1．エリア制度で最も大事にすべき事項は給与カットを行なってでも制度を利用した組合員が希望のエリアに配属したのかである。今後分会には調査を要請するので協力を求める。

2．安全衛生委員会を活用して頂きたい。地本としても現地調査を行ない会社との協議を行なっていく。

佐伯工務センター分会
古賀　委員

1．被服の対応について

2．地本での旅費精算について

＜執行部答弁＞
1．状況の確認を会社との協議を通して明らかにしていく。

2．定期大会までに規約を基に議論を行なっていく。

大分乗務センター分会
赤崎　委員

1．育児行路について

＜執行部答弁＞
1．現行は1つしかない時短勤務も今後利用したい組合員がいれば、フィードバック面談等を通じて会社に伝えていただきたい。会社としてどれくらいの社員が希望しているのかを把握し柔軟に対応していくとの考えを引き出してきた。
育児に関しての制度の改正は2024春闘でも要求している。引き続き会社との協議を行なっていく

石郷議長

来賓　鎗光副委員長

大分県議会の福崎氏が「持続可能な交通体系の構築」について一般質問

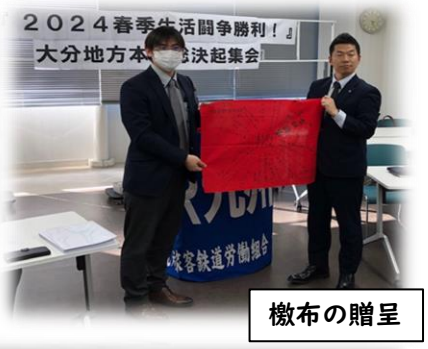
県議会は3月11日に本会議を再開した。大分地本、推薦の福崎智幸議員（電力総連出身）が公共交通を巡る諸課題についての一般質問を行なった。ＪＲ連合が掲げる産業政策の浸透にむけて大分地本では1月21日に交通重点政策意見交換会を開催してきた。その場で出た意見の一つである「持続可能な交通体系の構築」について、県議会議員の福崎智幸氏により一般質問がなされた。私たちの声が推薦する各級議員を通して各自治体に確実に届いております。諸課題解決には政治の力が欠かせません。今後も支援協力をお願いします。

「2024春季生活闘争勝利！』総決起集会

大分地方本部は２０２４年３月９日（土）全労済ソレイユにおいて２０２４春季生活闘争勝利！総決起集会を開催した。本集会では、春闘を最後まで粘り強く戦い抜くこと、「人への投資」こそが未来の原動力となること、私たちの求める政策・制度の実現に向けてともに闘うことを確認した。冒頭に大分地方本部を代表して難波副委員長より挨拶が行われた。大分乗務センター分会、大分工務所分会、中央駅連合分会、青年女性委員会の各代表者から決意表明として春闘に対する意気込みや思いを伝え、集会全体の機運を盛り上げた。檄布の受け渡しは北部駅連合分会の赤峰書記長が代表し手掛けた檄布を「組合員全員の思い」と伝え中央本部鎗光副委員長に手渡した。最後に遠藤委員長による団結ガンバローで閉会した。

決意表明

難波副委員長



檄布の贈呈

集会の様子

スローガン「勝ち取ろう明るい未来
繋げよう次世代へ　2024春闘勝利！」